

Instagramを使って 自社サイトへアクセスを誘導する方法 (付録) WordPressとの連携方法



●著作権について

無料レポート『Instagramを使って自社サイトへアクセスを誘導する方法』（以下、レポートと表記）は、著作権法で保護されている著作物です。レポートの使用に関しまして、以下の点にご注意ください。

レポートの著作権は、作成者に帰属します。

著作権者の許可を得ず、このレポートの一部もしくは全部を、いかなる手段においても複製、転載、伝達、流用、転売等することを禁じます。

違反行為や不法行為があった場合は、損害賠償請求を行うなど、法的手段による解決を行う場合がありますのでご注意ください。

このレポートの開封をもって、下記の事項にご同意いただいたものとみなします。

■第一条 禁止事項

レポート使用者に、レポートの著作権を譲渡するものではありません。著作権者の許可を得ず、レポートの一部もしくは全部を、いかなる手段においても、複製、転載、伝達、流用、転売等することを禁じます。

■第二条 損害賠償

レポートの内容に、万が一、不正確な情報や誤りがあった場合でも、著作権者・パートナーおよび業務提携者は、その責任を一切負いません。

レポートの使用は、自己責任で行うものとします。

レポートを使用し、何らかの不利益や損害が生じた場合でも、著作権者・パートナーおよび業務提携者は、その責任を一切負いません。

作成者：藤田ひろし

目次

プロフィール欄に至るまでの動線	4
プロフィール欄の編集	5
ウェブサイトURLへの工夫	6
写真投稿時のキャプションに入力するハッシュタグは重要	7
インスタ経由でアクセスしてもらった後	8
Instagramへの投稿をWordPressに反映させる	8
Instagramの投稿をWordPressの投稿としてアップする	8
Instagramのサマリーを任意の場所に表示させる	8

若い女性向けのビジネスをされている場合には、Instagramをマーケティングツールとして使わない手はありません。

ところが、Web集客に無料でInstagramを無料で活用しようとした場合には大きな問題があります。

その問題点は、Instagramの投稿にはURLが貼り付けられないことです。

写真の**キャプション**欄には、URLを入れる機能がないのです。

そもそも、Instagramは、スマホでの利用が前提になっているのでキャプションにURLを貼り付けるニーズがないとも言えます。

ただ、Web集客をするためには、こちらのサイトに何らかの方法でアクセスをしてもらう必要があります。

そこで唯一使えるのが**プロフィール**です。

このプロフィールの**ウェブサイト**と**自己紹介**を駆使して、Instagramから自社のWebサイトに誘導します。

プロフィール欄に至るまでの動線

まず、インスタユーザーが、プロフィール欄を表示する場合の動線についておさらいしておきま



しょう。

表示されている投稿の上の写真からユーザー名の付近をタップしてもらえれば、プロフィールページに移動します。



そして、このページにウェブサイト欄に設定したURLが表示されます。

この自己紹介欄に、ウェブサイトへの誘導文を書いておけばタップして移動してもらえる確率が上がります。

ただ、問題はここまでどうやって誘導するかです。

インスタの投稿に表示されているユーザーネームに日本語ができればタップを促すことも可能なのですが、アルファベットしか使えません。

簡単な英語でタップを促す方法もありますが、インスタというメディアの性質を考えてもできればなるべく商売っ気がない感じでタップさせたいところです。

そうすると、魅力的なユーザーネームにして興味を持ってもらうのがスマートです。

ただ、積極的にタップを促すユーザーネームを使うことも否定しません。

なぜなら、これは”どちらがいい”という話ではなく、個人のキャラに応じて使い分けられるからです。

プロフィール欄の編集

プロフィール欄の編集作業は、スマホで文字を打つのが得意な方もいらっしゃると思いますが、基本的にはPCでやった方が操作がしやすいと思います。

やりやすい方法で編集してもらっていいと思いますが、ここは何度も書き直したりすることになるということなのです。（特に最初は）

プロフィール欄を記述する際には、自己紹介はしっかり書くことが重要だと思います。

そして、その上でURLに誘導することではじめてサイトを見てくれると思います。

また、この欄には、"フォロー返しをする"旨のメッセージも入れておきましょう。この辺は、Twitterと同じですね。

ちなみに、自己紹介を書かずに、誘導だけやっているアカウントはスパムと思われても仕方ないです。

インスタは複数のアカウントが作れますし、個人情報を出す必要がないのでスパムをやっている人も多いですがオススメしません。

もはや、そんな時代ではないということです。

もう十分にご認識されていると思いますが、そんなスパムなことをやっても仮にうまくいったとしてもほんの一時期で終わります。

どうせやるなら正々堂々とフォローしてくれている方の役に立つことをするべきだと思います。

ウェブサイトURLへの工夫

ウェブサイトのURLを貼り付ける際に歯、Googleアナリティクス用にパラメータを付与しておくのをオススメします。

パラメータとはこのような表記で、設定しておくことでどこから誘導してきたかをアナリティクスで容易に計測できるのでオススメです。

utm_source=instagram&utm_medium=social&utm_campaign=offer2017

※参照元：Instagram、メディア：social、キャンペーン：任意、という感じです。

ただ、パラメータベタ打ちだとURLが長くてこのように見栄えが悪くなります。

http://ssw2005.net/?

utm_source=instagram&utm_medium=social&utm_campaign=offer2017

そこで、短縮URLで隠しておいた方がいいと思います。

短縮URLは、WordPressを使っている場合は、PrettyLinkプラグインがオススメです。

自分のドメインを使えますから怪しさがありません。

WordPressをお使いでない場合ですが、私のオススメの短縮URLはありません。

適当に、有名どころの短縮URLをお使いになればいいかと思います。

ちなみに、誘導先はトップページに限りませんから、直接オファーのページに誘導してください。

写真投稿時のキャプションに入力するハッシュタグは重要

Instagramでハッシュタグは、アクセスを増やしたり拡散をしたりするために非常に重要です。

ただ、ハッシュタグは、入力が非常に面倒です。（特にスマホでは）

以下の様なハッシュタグを作ってくれるサービスもあって、評判も悪くないですが、私が使った感じではあまり精度がよくありません。

【ハシュレコ】

<https://hashreco.ai-sta.com/>

そこで、私のオススメは、あらかじめ文字列として作っておいてメモなどに保存しておく方法です。

自分が使うハッシュタグのパターンというのはある程度決まっていると思うので、多めのタグを作っておいて貼り付けてから必要ないタグをカットする使い方がいいと思います。

関連するハッシュタグの探し方は簡単で、検索してハッシュタグタブ（#）を選ぶだけです。



投稿数の多いハッシュタグの方が拡散力が高いです。

ハッシュタグは、最大で30個まで貼り付けられますので積極的にたくさん選びましょう。

いずれにしても、ここで手を抜くと、それまでの苦勞が水の泡と言っても過言ではありません。

Instagramのハッシュタグはすごく重要です。

インスタ経由でアクセスしてもらった後

インスタユーザーは、言うまでもなくスマホユーザーです。

スマホ表示に最適されていないサイトへ誘導しても結果は見えています。

つまり、順番としては、スマホユーザーが見やすく、オファーに応答しやすい仕組みを作っておくことの方が先です。

インスタからの誘導先ページがしっかりスマホでの表示に最適化されていないと、せっかく誘導が成功してもオファーへの反応率は上がりません。

Instagramへの投稿をWordPressに反映させる

InstagramとWordPressとの連携は、そもそも必要かどうか、こういった状況で使うと有益か、などは使う側の工夫や発想次第になります。

最初は必要性を感じなくても連携させておくのも悪くないかもしれません。

Instagramの投稿をWordPressの投稿としてアップする

プラグイン「Integrate Lite」を使うと、Instagramに投稿された写真がWordPressの投稿としても自動でアップされます。

Instagramのサマリーを任意の場所に表示させる

プラグイン「Instagram Feed」を使うと、ショートコードを設定した場所に、Instagramの写真と並べて表示することができます。

「Instagram Feed」で検索するといろいろなプラグインが表示されますが、こちらのプラグインです。

<https://wordpress.org/plugins/instagram-feed/>

私の弟は、美容院をやっているのですが、仕上がったお客さんを撮ってアップしています。

以上で『Instagramを使って自社サイトへアクセスを誘導する方法』についてのレポートは終わりになります。

読んで頂いて大した内容ではないと思われたかもしれません。

そう思われたなら、逆に、是非この程度の設定はすべてやってみることをオススメします。

やっているのとやっていないのとでは大違いです。

あなたのビジネスにInstagramが活用できることをお祈りしております。

最後まで読んでくださって本当にありがとうございました。感謝！

藤田ひろし
えびす商売繁盛マーケティング
<http://ssw2005.net/>